

横須賀市中小企業景況レポート

第 43 号 (令和 5 年 7 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町 11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページからもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：164社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査151社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和5年1～3月の景況感（調査時点 令和5年3月1日）
今期・・・令和5年4～6月の景況感（調査時点 令和5年6月1日）
次期・・・令和5年7～9月の景況感（調査時点 " ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I 値算出による（次ページにD I 値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

* D I 値調査結果は裏面に記載

* 【 】は今期のD I 値を記載

全業種の景況感は、前期の△5Pから9P向上し、【4P】となりました。

今期の景況感は、製造業【13P】、サービス業【24P】は、それぞれ39P、24P大幅に向上しましたが、不動産業【△33P】は33P大幅に低下しました。建設業【9P】、卸・小売業【△12P】は、横這いの状況です。

項目別では、売上額【2P】がやや向上しましたが、その他の項目は横這いの状況です。

昨年同期（令和4年4月～6月）との景況感比較は、今期構成比【7P】が、前期構成比【△7P】より、14Pやや向上しました。

コロナ禍の影響が小さくなってきたという声も多いですが、原材料費や光熱費などの高騰の影響で、厳しい状況が続いています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値がDI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P以上)	やや良い (6P～14P)	変わらない (△5P～5P)	やや悪い (△6P～△14P)	悪い (△15P以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期のDI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【 13P <やや良い> ↗ 】 (前期比 39P)

前期と比べ、売上額【△9P】、収益【△9P】、雇人員【△18P】は、それぞれ23P、31P、25P大幅に向上し、資金繰り【△6P】も6Pやや向上しました。

次期は、雇人員がやや向上し、売上額、収益がやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・原材料高騰分の販売価格への転嫁が一定程度進んできている。
- ・半導体不足に加え、海外からの部品・原材料等の輸入が停滞している。影響は当面続くと予想され、7月～9月の売上は減少を見込む。


(2) 建設業 景況感 【 9P <やや良い> ↗ 】 (前期比 △3P)

前期と比べ、資金繰り【△3P】は16P向上しましたが、雇人員【△51P】は7Pやや低下しました。その他の項目は横這いの状況です。

次期は、売上額が向上、収益は大幅に向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・大手民間企業や市町村等からの大規模受注が多数確保できており、順調に推移している。依然、人件費など労務費の確保には期間を要するが、業務効率化と賃金アップを2本柱に注力していく。
- ・4月～6月売上は、10%増加。新築住宅の建築やリフォーム等の件数は増加傾向であったことが要因。材料費高騰の影響は、しばらく続くものと予想される。
- ・コロナ禍以前の回復とはいかないため、受注先を見つけることが重要になってくる。

(3) 卸・小売業 景況感 【 $\Delta 12P$ <やや悪い>  】 (前期比 $\Delta 3P$)

前期と比べ、雇用人員【 $\Delta 25P$ 】は10Pやや向上しましたが、売上額【 $\Delta 6P$ 】、収益【 $\Delta 12P$ 】、資金繰り【 $\Delta 19P$ 】は横這いの状況です。

次期は、売上額、資金繰りがやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・コロナ禍の影響で、来客が激減して以来、コロナ以前の売上水準には及ばない。広告宣伝に力を入れ、新規顧客層への周知を図りながら、既存顧客へはダイレクトメールを発送し、買い替え需要の掘り起こしを図る。
- ・食品等の仕入価格上昇が続くが、販売価格への反映が追い付いていない。仕入価格の上昇は当面続くと思われ、先行きは不透明。


(4) 不動産業 景況感 【 $\Delta 33P$ <悪い>  】 (前期比 $\Delta 33P$)

前期と比べ、売上額【 $\Delta 25P$ 】は42P大幅に低下し、収益【 $0P$ 】、資金繰り【 $8P$ 】は、それぞれ17P低下しましたが、雇用人員【 $\Delta 17P$ 】は横這いの状況です。

次期は、売上額が大幅に向上、収益が向上、資金繰りは、やや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・仕入れは慎重に行っており、売り上げ増加は、あまり期待できない状況だが、昨年仕入れた物件を今期売却し、売上計上に繋げていく。商品在庫の売却が見込める時期であり、7月～9月売上は、増加を見込む。
- ・材料価格高騰等の影響による高めの価格設定から顧客も様子見の状態が続いている。価格高騰は、商品仕入にも影響を及ぼしており、販売に結び付かない状態。

(5) サービス業 景況感 【 $24P$ <良い>  】 (前期比 $24P$)

前期と比べ、売上額【 $24P$ 】が、15P向上し、資金繰り【 $\Delta 2P$ 】は、7Pやや向上しましたが、雇用人員【 $\Delta 35P$ 】は、15P低下しました。

次期は、売上額、雇用人員が、やや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・コロナ禍の規制緩和により、利用者数が増加した。コロナ禍前の売上には至らないが、昨年同期と比較すると問い合わせや施設見学の件数が増えており、新規利用者の契約が見込めることから7月～9月の売上は増加を見込む。
- ・休日の集客は、コロナ禍前と同水準。ゴールデンウィークの売上は、過去最高となった。
- ・週末の客入りは戻ってきたが、平日は閑散としている。会社の歓送迎会や町内の寄り合いがなくなってしまった。

DI 値 調査結果

前・・・前期 令和5年1月～3月の景況感（調査時点 令和5年3月1日）
 今・・・今期 令和5年4月～6月の景況感（調査時点 令和5年6月1日）
 次・・・次期 令和5年7月～9月の景況感（調査時点 令和5年6月1日）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	159	35	32	46	12	34
今期	164	32	35	48	12	37
次期	164	32	35	48	12	37

(単位：ポイント)

項目	業種			業種			業種			業種			業種			業種		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	23	30	28	11	38	16	28	29	40	24	23	25	17	0	25	29	43	32
変わらず	49	44	53	52	37	65	56	51	49	43	42	50	66	67	42	42	38	54
悪い(B)	28	26	19	37	25	19	16	20	11	33	35	25	17	33	33	29	19	14
DI値(A)-(B)	△5	4	9	△26	13	△3	12	9	29	△9	△12	0	0	△33	△8	0	24	18
今-前/次-今	9		5	39		△16	△3		20	△3		12	△33		25	24		△6
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	26	29	29	11	25	13	31	31	40	26	25	29	25	8	33	35	43	32
変わらず	44	44	48	46	41	53	41	46	46	44	44	46	67	59	34	39	38	52
悪化(B)	30	27	23	43	34	34	28	23	14	30	31	25	8	33	33	26	19	16
DI値(A)-(B)	△4	2	6	△32	△9	△21	3	8	26	△4	△6	4	17	△25	0	9	24	16
今-前/次-今	6		4	23		△12	5		18	△2		10	△42		25	15		△8
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	19	18	20	6	22	13	25	17	31	17	19	17	25	8	42	26	19	14
変わらず	49	56	57	48	47	53	47	63	55	50	50	60	67	84	33	45	54	64
減少(B)	32	26	23	46	31	34	28	20	14	33	31	23	8	8	25	29	27	22
DI値(A)-(B)	△13	△8	△3	△40	△9	△21	△3	△3	17	△16	△12	△6	17	0	17	△3	△8	△8
今-前/次-今	5		5	31		△12	0		20	4		6	△17		17	△5		0
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	3	6	3	0	16	6	6	3	3	0	2	2	0	0	0	6	8	3
適正	61	57	64	57	50	78	44	43	46	65	71	73	83	83	83	68	49	51
少ない(B)	36	37	33	43	34	16	50	54	51	35	27	25	17	17	17	26	43	46
DI値(A)-(B)	△33	△31	△30	△43	△18	△10	△44	△51	△48	△35	△25	△23	△17	△17	△17	△20	△35	△43
今-前/次-今	2		1	25		8	△7		3	10		2	0		0	△15		△8
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	11	12	12	11	16	9	6	14	14	11	8	10	25	8	25	9	14	8
支障がない	68	68	74	66	62	72	69	69	72	63	65	75	75	92	67	73	70	81
苦しい(B)	21	20	14	23	22	19	25	17	14	26	27	15	0	0	8	18	16	11
DI値(A)-(B)	△10	△8	△2	△12	△6	△10	△19	△3	0	△15	△19	△5	25	8	17	△9	△2	△3
今-前/次-今	2		6	6		△4	16		3	△4		14	△17		9	7		△1

<参考> 昨年同期と現在の景況感比較(回答155社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	42社	27%	22%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	82社	53%	49%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	31社	20%	29%
DI値(A)-(B)		7P	△7P

